

2023年3月期 第2四半期決算説明(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外の CKD 中国工場の現在の状況

A: いずれの工場も高い稼働状況です。

Q: 工場の生産性改善の状況

A: 物流面の改善と製造ラインの自動化推進が生産性改善に寄与しております。引き続き取組みを進めてまいります。

Q: 部材の供給制約 解消時期について

A: 上期に対し、下期後半の入手状況は多少よくなるのではないかと期待しております。以前の状況に戻るのはいずれか来期以降ではないかとみております。

Q: 機器 セグメント利益率について

A: 前期1Qに比べ、今期1Qや2Qの売上高は伸びましたが、上期を通じて部材価格の高騰や部材長納期化による生産への影響がございました。

Q: 機器 半導体 投資見通し

A: メモリ投資は調整局面に入っていると認識しておりますが、ロジック投資は引き続き堅調に行われるとみております。

Q: 機器 半導体 メモリの動向

A: 1Qから2Qにかけてはメモリ関連も増えております。下期は不透明な部分がございます。

Q: 機器 半導体 中国ビジネスの考え方

A: 最先端のプロセスについて国の規制に従って対応してまいります。

Q: 北米工場の竣工や北陸工場の建設について

A: 生産能力をしっかりと確保するために投資を行い、中長期的な需要拡大に対応できるよう進めてまいります。

Q: 2023年3月期業績予想 上方修正の理由

A: 上期は部材調達など不透明感があったため期初は慎重にみておりましたが、生産が想定よりうまく進み業績を伸ばすことができました。また、受注残を含めて下期も安定した生産ができることを考慮いたしました。